



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2017

2017年
2月11日
〈土曜日〉



特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

貿易・投資で閣僚枠組み



トランプ米大統領（右）と握手する安倍首相
11日、ワシントンのホワイトハウス（共同）

日米首脳 初会談

同盟強化へ声明

【ワシントン共同】倉本義孝「安倍晋三首相は10日午後（日本時間11日未明）、トランプ米大統領とホワイトハウスで初めて会談し、日米の経済関係強化のため、貿易・投資分野などで幅広く協議する閣僚枠組みを新設することで合意した。両首脳は、日米同盟を一層強化する決意を確認したとの共同声明を作成。首相は年内の日本公式訪問を招請し、トランプ氏は受け入れた。沖縄県・尖閣諸島について、米国の防衛義務を定めた日米安全保障条約第5条の適用対象であると確認した。」

トランプ氏年内来日

今回の会談は大統領 主導したい考えだが、就任後、両首脳による トランプ氏とは貿易面初の本格的な対話。首 などで主張に距離がある相は首脳間の信頼関係 り、連携推進が難航する局面もありそうだ。首相は会談後の共同

記者会見で、閣僚枠組みについて「麻生太郎副総理兼財務相とペンス副大統領の間で協議を行う」と表明。通商政策に関し、中国を念頭に「アジア太平洋地域に自由で公正なマーケットをつくり上げていく」と述べた。トランプ氏は、日米同盟はアジア太平洋地域安定の「礎石」だと強調。尖閣を念頭に「日本の施政下にある全ての領域」の安全保障に責任を持つと明言した。「両国に利益をもたらす自由で公正、互恵的な貿易関係を目指す」とも語った。外交・安保分野では、会談で米国の「核の傘」による「拡大抑止」の提供を確認。北朝鮮に核・ミサイル開発の放棄を要求することでも一致した。

購読・試読のお申し込みは▶

フリーダイヤル

0120-81-8040